

相手とお湯を交互に使い、先に使い切った方が勝利する頭脳ゲーム

「魔法瓶使いに大切なこと」配信

※「魔法瓶使いに大切なこと」は505i以降の機種専用アプリです

ネットファーム・コミュニケーションズ株式会社(本社:札幌、社長:古谷貞行)は、
iアプリ配信専門のiメニューサイト「定番☆ぱずる島」において、頭脳ゲーム
「魔法瓶使いに大切なこと」を2007年10月8日(月)から配信します。



お湯の使い方にはウルサイ！魔法“瓶”使い！



カップラーメンなどにお湯を注ぐ時、途中で湯が切れようものなら、軽く世界に絶望してしまいそうな人も少なくはないはず。真の「魔法瓶使い」とは、そのような過ちを起こすことのない選ばれた者なのだ！……というより、相手に「ガフガフ」させることに喜びを見出すサディストかもしれない。

■『魔法瓶使い』にとってお湯残量の確認は基本中の基本！

「魔法使い」？ いえいえ、「魔法“瓶”使い」です。「魔法瓶使いに大切なこと」は、自分と相手とで交互に魔法瓶——いわゆる電気ポット——のお湯を使いあい、自分の番にお湯がなくなったら負けという、碁石取りのような頭脳ゲームです！

「魔法瓶使い」のサリナは、ある日お湯を使おうと魔法瓶のスイッチを押しますが、すでにお湯は無く「ガフガフ」とむなしい音が響くのみ。ライバルの「魔法瓶使い」メグミ曰く「お湯の残量確認は基本中の基本！」。この「大切なこと」を念頭に、正しくきっちりお湯を使いましょう！

■さまざまな容器を使い分け、自分の番でお湯を使い切れ！

お湯の残量を計算しつつ、カップラーメン、マグカップといった容積の違う容器を使い分けていきます。最終的に、自分の番でお湯切れを起こさないようにしましょう。常に相手の先を考えなくては、勝つのはキビシイ？



「魔法瓶使い」の「サリナ」と「メグミ」によるおバカなゲーム解説もちょっとした見所。



さてとどれにお湯を使おうかな。最初だしこはカップ麺とマグカップを同時に……。



こぼこぼとお湯が注がれ、立ち上る湯気。うーん、おなか減ってきたなあ(笑)



お湯切れえ！？「ガフガフ」言ってる！うわーん、どうしてくれるのこの焼きそば！！

(c)NetFarm

定番☆ぱずる島 月額315円(税込)

アクセス	mov: メニューリスト>ゲーム>ゲーム1>パズル > 定番☆ぱずる島 FOMA: メニューリスト>ゲーム>パズル> 定番☆ぱずる島 http://island-i.netfarm.ne.jp/?r=10301
対応機種	504i/505i/506i/700i/701i/702i/703i/704i/800i/851i/900i/901i/902i/903i/904i/2051/2102V/2701 各シリーズ ※SH851iを除く ※「魔法瓶使いに大切なこと」は505i以降の機種専用アプリです
問い合わせ	island-i@netfarm.ne.jp
PCページ	http://www.netfarm.ne.jp/island/

